

## 城西人文研究 既刊総目次

## 創刊号 (1973年)

- 序……………武 市 春 男  
『城西人文研究』の創刊に際して……………蒔 田 栄 一  
ニーチェとキリスト教倫理……………木 阪 昌 知  
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について……………貞 末 堯 司  
意味と認識  
——パース研究(4)——……………西 勝 忠 男  
シーハラヴァットパカラナ訳註(Ⅱ)  
——第1章 第3・4・5話——……………森 祖 道  
独白と対話  
——ジョイスとペローの距離——……………茂 呂 公 一  
ポーにおけるグロテスクとアラベスク……………水 田 宗 子  
内村鑑三おぼえ書き(その八)……………岩 谷 元 輝  
人間の社会的構造と疎外……………松 浦 孝 作  
『靈魂の系図』について  
——Carlyleを中心として——……………松 田 福 松  
カフカの世界  
——非ユダヤ的ユダヤ人——……………山 口 勲

## 第2号——蒔田栄一教授追悼論文集——(1974年)

- 巻 頭 言……………武 市 春 男  
バスク語の単文における語順の文体的価値について……………堀 田 郷 弘  
内村鑑三おぼえ書(その九)……………岩 谷 元 輝  
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造(1)……………木 阪 昌 知  
『サムラー氏の惑星』試論……………森 哲 夫  
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考……………太 田 広  
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム(Ⅳ)  
——マーケティングと宗教の関連において——……………渡 辺 好 章  
遠近法と身体性について……………山 口 勲  
同一性(アイデンティティ)に関する諸問題——その一……………帆 足 喜与子  
涼袋稿『風雅艶談』浮舟部——翻刻——……………黄 色 瑞 華

「紙」以前の書写の用材について	井口大介
故蒔田栄一教授 追悼	松田福松
ああ蒔田栄一先生よ	伊部政一

### 第3号——城西大学開学十周年記念論文集——（1975年）

アンデス古代文明の諸問題	貞末堯司
発見の哲学——パース研究（6）——	西勝忠男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成 ——埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較——	田村正夫
鉄齋と華山	小野浩
日本民主主義研究序論	森田昌幸
遠近法と身体性——その哲学的意味——	山口勲
<i>Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women in Sylvia Plath's The Bell Jar and Joan Didion's Play It As It Lays</i>	水田宗子
『おらが春』の素材	黄色瑞華
日本におけるアンドレ・マルロー受容 ——1941年（昭16）まで——	堀田郷弘
ジェイムズ・ジョイス研究——造形への意識——	茂呂公一
作品とその批評 ——Robert Elsmere と “Robert Elsmere”——	萩原博子
司馬遷論	黒羽英男
三代日本主義の系譜について	松田福松

### 第4号（1977年）

論理の自律性について——パース研究（7）——	西勝忠男
カントの「定言命法」	山口勲
中央アメリカの考古学史 ——先コロンブス期文化の研究を中心とした——	貞末堯司
クレアラ・アン・ペイター覚え書	萩原博子
『教育者としてのショーペンハウアー』から ——ニーチェと自然——	河内信弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学——	陶山 瞳

## 冷たき牧歌

——キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて——	永井豊実
『おらが春』の素材（続）	黄色瑞華
歌人「安江不空」	小野浩

## 第5号（1978年）

南アメリカの考古学史	貞末堯司
Manorathapūrani 源泉資料年代論	森祖道
大学英語教育の問題点（上）	鮫島久男
クレアラ・アン・ペイター覚え書（Ⅱ）	萩原博子
『シンベリン』，皮肉な遊戯	戸所宏之
カフカ研究の視座を求めて	山口勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説（1960年2月22日）	と郷弘
東京羽田空港におけるインタビュー（2月29日）	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅲ）	陶山曠
ニーチェと自然（一）	河内信弘
『おらが春』第一話の設定をめぐって	黄色瑞華

## 第6号（1979年）

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために	山口勲
パーソナリティテストとしての SCT に関する一考察	
——特に応用とその解釈をめぐって——	駒崎勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について（1）	
——我国におけるジョイス評価の推移——	茂呂公一
A Textual History of Walter Pater's <i>Renaissance</i>	Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造——「運命」「眠り」「時」——	小野昌
ニーチェと自然（二）——『悲劇の誕生』——	河内信弘
全集本『おらが春』について	黄色瑞華

## 第7号（1980年）

ヤスパースとフッサール	
——精神病理学の哲学的基礎——	山口勲
PANTUN——puisi dan puisi rupa——	黄色瑞華
国際水利法に関する一考察	土屋生

- ジェイムズ・ジョイスの手法について (II)  
 ——我国におけるジョイス評価の推移——……………茂 呂 公 一
- The Development of the Audiolingual Approach  
 ——Trends in Language Methodology in the United States——  
 ……………Fumiko Tamura
- 『空騒ぎ』の冥と光——像りの力学——……………戸 所 宏 之
- 「エンディミオン」における映像のあり方……………永 井 豊 実
- 『ヴェニスの商人』における Venture について……………小 野 昌
- カミュとニーチェ——『異邦人』と〈神の死〉——……………村 岡 正 明
- アンドレ・ジッドの方法 (IV)——生命の美学——……………陶 山 瞳
- 「騎士と死神と悪魔」  
 ——『悲劇の誕生』におけるデューラーの銅版画をめぐる——  
 ……………河 内 信 弘

### 第 8 号 (1981年)

- ウィトゲンシュタインのケムブリッジ……………山 口 勲
- アメリカ文化論 (I)……………小松 光・金勝 久・茂呂公一・黒沢順三
- シャルル・モーロンの「精神批評」(1)……………越坂部 則 道
- 「高き山々の頂きから」  
 ——『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み——……………河 内 信 弘
- 思想家としてのニーチェ……………小 野 浩
- 『四山藁』の俳論……………黄 色 瑞 華

### 第 9 号 (1982年)

- アメリカ文化論(II)……………金 勝 久
- ジョイスのパドバ・エッセイについて……………茂 呂 公 一
- アンドレ・マルローの最初の美術論  
 《La Peinture de Galanis》(1922) について  
 ——マルローの初期の美術論の研究(前)——  
 ……………堀 田 郷 弘
- シャルル・モーロンの「精神批評」(2)……………越坂部 則 道
- 教育場面における夢の活用(I)  
 ——その背景としてのフロイトとユング——  
 ……………細 部 国 明
- 身・語・意の三業 (tīṇi kammāni) と carita, saṅkhāra, samācāra  
 ……………池 田 練 太郎

詩的コスモゴニーへの論理  
——ランボー詩の内的世界——

.....	川那部 保 明
ハイデガー先生の想ひ出.....	小 野 浩
〔研究ノート〕	
俳諧連歌における謡曲の文句取り(一).....	黄 色 瑞 華